

平成29年度 根本校区地域力向上推進会議（ねもと地域力）総会

平成29年4月2日（土）13：30～

根本交流センター 小ホール

次第

1 開会の辞

2 会長あいさつ

3 議 事

議長選出

第1号議案 平成28年度事業報告（2～7頁）

第2号議案 省略

第3号議案 役員改選（案）（8頁）

第4号議案 平成29年度事業計画（案）（9頁）

第5号議案 省略

4 来賓あいさつ

若尾靖男 多治見市議会議員

寺島芳枝 多治見市議会議員



ねもと地域力

根本校区地域力向上推進会議



ホームページ検索「ねもと地域力」 <http://nemoto-tiikiriyoku.com/>

第 1 号議案

平成 28 年度事業報告

平成 28 年度は、ねもと地域力が組織されて 6 年目を迎えるステップアップの為の非常に貴重な一年間でありました。各グループの活動は徐々にではありますが地域に確実に根を張り、一部マスコミにも取り上げられる様になりました。

また、募金活動では、根本ふれあいフェスティバル会場、22 区、31 区での全戸回覧と、皆さまから大変大きな心づかいを頂戴致しました。誠に有難うございました。

1 会議の開催

(1) 企画会議の開催 12回

① 目的

- ・ グループ長会議、役員会、全体会議及び総括事業の運営に関する企画を検討しました。
- ・ 新しい事業の創出を模索しました。

(2) グループ長会議の開催 12回

① 各グループの活動情報共有化

- ・ グループ長は、他のグループの活動を理解し、グループ例会で部員に徹底することに努めました。
- ・ 総括事業及び適宜テーマの推進方策を検討しました。

(3) 役員会の開催 6回

- ##### ① 全体会議の議事内容の検討及び根本ふれあいフェスティバル準備委員会など適宜に応じたテーマに関する意識合わせ、組織運営の円滑化に努めました。

(4) 全体会議の開催 4回(4月は総会)

① 各グループの活動情報共有化

- ・ 現状の活動内容は、会員が中心の活動と地域住民が主役の活動の二種類が考えられます。
- ・ 目指す活動が、地域住民主役の活動とするならば、まずは、ねもと地域力全会員が、各グループの活動を理解する事が肝要です。

② 総括事業の推進情報共有化

- ・ 多治見市からの受託事業遂行状況等を検討しました。
- ・ 根本ふれあいフェスティバル出展成功の為、役割・方策等を検討しました。

③ ワンコイン募金活動等、適宜に応じたテーマを検討しました。

2 総括事業の実施

(1) 「第4回根本ふれあいフェスティバル」への出展

(28年11月5日～6日)

- ・ 来場促進策として、来場記念品を事前告知しました。
校区内、3,800 枚の告知チラシを回覧方式で配布。

- センター来場者が、地域カブス（小ホール）へ入場容易にする為、玄関ホールに、カーペットの通路（土足厳禁）を作ったり、バルーンによる、地域カゲートを設置し入場促進を図りました。
- 各グループの提案コーナーでは、昨年度とは違った内容が目立ち、来場者は興味津々な姿で熱心に説明を聞いていました。
- 来場者（小ホールのみ）は、5日 420名（497名）、6日 281名（132名）、合計 701名（629名）と昨年比1割強の増員。

※（ ）内は昨年来場者

昨年は、手動カウンターにて来場カウントしたが、本年は、W カウントを防ぐ為、入場者全員に地域力 PR 袋を渡しカウントしました。ほゞ実数が確認出来ました。

(2)「生活圏域における認知症を支えるネットワークづくりモデル事業」の推進
当事業は多治見市からの受託事業です。

- 受託事業遂行の為、「高齢徘徊者支援検討部会」を立ち上げました。
本年度会議開催（含む講演会・見学会） 10回
- 活動内容は、主管の高齢者・障がい者グループより別紙6頁で紹介しますが、部員の認知症に対する理解度アップや、今後の方向性が具体的にできてまいりました。（別紙6ページ参照）

3、各グループの活動状況

(1) 防災グループ

「日本一防災意識の熱いまちづくり」をスローガンとして、月1回以上の会議を開催し、グループ毎の活動計画策定、活動状況確認と情報の共有化を図ってきました。

- ① 自らの命を守る「家具の転倒防止」に向けてのセミナーを千歳会で実施「家具転倒防止器具パネル」展示を根本交流センターのフェスティバルで実施
- ② 作成物のホームページへの掲載と更新
校区内ハザードマップ及び簡易トイレ製作会、家具転倒防止器具セミナーの案内
- ③ 防災意識向上活動
防災の花「ど根性ひまわり6世」種を配布。
主なる配布先、ふれあいフェスティバル来場者に300袋、昨年の総会参加者に50袋、スマイルステージ来場者に120袋。
- ④ 地域防災訓練への参画
ア. 家具転倒防止セミナー（第22区）
イ. 災害用簡易トイレの作り方及び家具転倒防止セミナー（第31区）
- ⑤ 災害用簡易トイレの作り方の実施（松坂第2町内会）

(2) 地域交流グループ

「誰とでも話ができるまちづくり」をスローガンとして趣味など楽しい行事を通じて交流の輪を広げ、多くの地域の方々と笑顔で気楽に話ができる、そんな交流の環境づくりに取り組んできました。

①おしゃべりクラブ

ア.写真技術向上のための撮影会の開催 月 1 回

イ.家庭菜園の講習会の開催 月 1 回

ウ.健康食講座の開催 月 1 回

②子供も多数参加をする将棋（月 2 回）、

③ハッピー喫茶 ほか

(3) 高齢者・障がい者グループ

① 部会の開催

単独開催 3 回・高齢徘徊者支援検討部会と同時開催し高齢者問題を検討した。

② ふれあいフェスティバルにて

◎「もしもの時にそなえて」の普及

◎空家利用による高齢者の「集いの場」の在り方について提言

◎疑似高齢者の体験コーナー

(4) 子ども・子育てグループ

「子育て・親育ち・子どもが生き生きと生きるまちづくり」をスローガンに活動以来 4 年半。根本小学校を中心に活動してきた結果、児童はじめ多くの保護者からも好評をいただけるようになったと思っています。

①根本小のあいさつ運動の支援活動の一環として設置した案山子・標語等の維持メンテナンスを継続的に実施してきました

②卒業式・入学式・終始業式・運動会等の学校行事の節目にはそれに見合うような案山子への飾り付けや看板等を制作設置し児童達を激励したつもりです。

③ 階段手摺りの塗装やロータリーの植栽は適時実施してきました。

④ 児童登下校時の交通安全見守り活動を継続実施しています。

⑤ 6 月には親子工作教室（プロペラ飛行機づくり）を交流センターと共催で実施しました。親子 30 組が参加しました。

(5) 防犯グループ

「日本一防犯意識の熱いまちづくり」をスローガンとして、年 8 回の部会を開催し、また、根本校区内での各種パトロールを行うなど地域の安全、安心確保のための活動を展開してきました。

根本校区内一斉パトロールの実施 年 8 回

- ① 青パトロールによる根本校区内の巡回 月 5 回
- ② 児童の登下校時の見守り、防犯灯、放置自転車、危険箇所等異常発見時の関係組織への通報
- ③ 年金振込日の振り込め詐欺防止活動（バロー根本店、旭ヶ丘 JA 等 ATM） 年 6 回 約 1,750 名の方にグッズ、ピラを配布して注意喚起を行いました。
- ④ 外部防犯活動組織との意見交換の場として、警察庁の主導する「中部ブロック防犯ボランティアフォーラム」に参加し、他地域の防犯ボランティアグループの活動状況について意見交換をしました。（7月23日）
- ⑤ 平成28年度に期限切れとなる岐阜県警察本部長が発行する「パトロール実施者証（青色パトロールカー乗車に必要）の資格取得講習会を開催し37名が受講し、資格を取得しました。（更新31名、新規6名）
- ⑥ 年末年始と夏期における街を明るくする運動として、各家の門灯の点灯を奨励するキャンペーンを実施しました。

(6) 自然・生活環境グループ

「ごみを捨てないまちづくり」、「歴史や自然を大切にすまちづくり」、「ペットの匂いのないまちづくり」をスローガンとして、自然環境保全、環境美化活動を展開してきました。

- ① ホタルが飛び交う環境づくりに向けた、カワニナの放流と養殖池の整備
- ② 根本川ホタル観察会 平成 27 年 6 月 15 日 50 匹以上確認
- ③ 大原川右岸の整備と、根本小学校 5 年生児童との合同による彼岸花球根の植栽
- ④ 根本校区の文化遺産（高社山、大杉、根本焼窯跡など）の学習会

4 広報活動

「ねもと地域力」の存在、活動内容等をホームページで公開し地域、或いは全国に発信してきましたが、その浸透度はいまだ低調であり、今後も地道に取り組む必要があります。

5 ワンコイン募金活動

昨年に引き続き「第4回根本ふれあいフェスティバル」会場及び2月には、第22区、第31区の皆様に募金のお願いを致しました。

その結果、フェスティバル会場では4,333円、第22区、第31区からは352,754円、総額357,087円と昨年と変わらぬ貴重な浄財を頂戴致しました。この貴重な浄財は、「ねもと地域力」が目指す「みんなで育てる 明るいまちづくり」を一緒にやるよとの意思表示と承りました。この期待に応え、今後さらに積極的に活動を展開し目標を達していく覚悟です。

・別紙・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

平成 28 年度 「高齢徘徊者支援事業検討部会」報告

本事業については、「ねもと地域力」の総括事業として、会員のみならず校区民に呼び掛けて部会員を募り実施した。

主管；高齢者・障がい者グループ

検討部会員：32 名（別紙名簿参照）

事業の推進については、第 1・2 回の検討部会での発言から本検討部会の方針を次の 4 本の柱を立て実施した。

(1) 「認知症」に対する部会員の共通認識の確立のための勉強会の開催

- ① 医学的見地から（平成 28 年 7 月 27 日・根本交流センター）
国立長寿医療センター長 遠藤英俊先生を招へい、部会員だけでなく、多治見市担当者（保健センターを含む）並びに包括支援センター担当者にも呼びかけ開催
- ② 行政の見地から学ぶ（平成 28 年 8 月 31 日）
「多治見市における高齢福祉の現状～認知症介護問題を中心に」
多治見市高齢福祉課 春田課長代理・三浦総括主査
- ③ 支援者の見地から学ぶ
◎包括支援センターの活動・サポーター講習会（平成 28 年 6 月 9 日）
南姫包括支援センター 伊藤主事
◎サポーターフォローアップ研修会等に参加
- ④ 介護・支援の実態から学ぶ
◎認知症特化施設「愛の家グループホーム多治見」見学・懇談
（9 月 28・30 日）2 班に分け 12 名が参加
◎認知症カフェ、太平包括支援センターが開設しているものを見学

(2) 地域住民の「認知症」への理解を深める事業の展開

- ① 認知症サポーター研修会の開催
- ② 中学生を対象にした「認知症」講座の開設
- ③ 認知症を正しく知るための教育活動（一般住民）

(3) 認知症にならないための予防活動（認知症予備軍である中高年者対象）

- ①生活習慣病予防講座の開設
- ②健康づくり運動の展開
- ③高齢者転倒予防講座の開設

(4) 上記の事柄を踏まえた地域ぐるみの「支援の在り方策」に関する提言を作成するため、第 1 の柱である、検討部会を継続する必要がある。

また、今後も第 2・3 の柱についても、根本校区内で具体的な事業を現状で行われている施策を活用しつつ、我々が試行的に実施する事業などを展開するなどして、「ねもと地域力」として「高齢者問題の地域支援の在り方」をまとめ、多治見市に提言することとする。

高齢徘徊者（認知症）対策の概要

高齢徘徊者支援の検討	認知症支援の輪の拡充	認知症予防の対策
認知症の正しい理解 1) 医学的側面 2) 行政施策的側面 3) 社会科学的側面 4) 患者家族の側面	認知症への知識普及 1) 地域住民の教育 2) 小・中生徒の教育 3) 患者家族への教育 4) 支援の在り方教育	生活習慣病対策の実践 1) 運動 2) 栄養 3) ストレスマネジメント
支援活動の実態把握 1) 関連施設の見学 2) 支援団体の見学 3) 患者家族の実態把握	支援者の拡充 1) 支援活動の試行 2) 地域ホーム開催 3) 医療福祉専門家との連携模索	軽度認知症患者の支援 1) 認知症患者生活支援 2) 一緒に徘徊チームの育成
支援策の検討	地域組織への働きかけ	社会資源の活用

.....

第2号議案

省略

第3号議案 役員改選（案）

役職	区分	氏名	参考
会 長	留任	澤近祥弘	
副会長	新任	浅野みな子	ふれあいねもと会長
運営委員	新任	若尾 敏	第22区長
運営委員	新任	藤田洋行	第31区長
運営委員	新任	越智 洋	明和第2町内会長代理
運営委員	留任	若尾 宏	根本校区まちづくり市民会議会長
運営委員	新任	鈴木滋雄	根本地域民生・児童委員協議会長
1、防災グループ長	留任	浅野 健	
2、地域交流グループ長	新任	大倉マル子	
3、高齢者・障がい者グループ長	留任	久我 正	
4、子ども・子育てグループ長	留任	吉田邦彦	
5、防犯グループ長	留任	鈴木茂三	
6、自然・生活環境グループ長	留任	松本知之	
事務局長	留任	戸田政雄	システム担当兼
会計	新任	平岡博志	前31区長
会計監査	新任	若尾龍信	第22区会計
会計監査	新任	坂崎英治	第31区副区長

第4号議案

平成29年度事業計画（案）

1 会議の開催

- (1) 総会および全体会議（総会4月、全体会議7・10・1月）
- (2) 役員会（年4回）
- (3) グループ長会議（月1回 第3水曜日）
- (4) 企画会議（月1回 第1木曜日）
- (5) 区長、町内会長との意見交換会の開催（年2～3回）
- (6) その他、必要に応じて適宜開催

2 総括事業の実施

- (1) 多治見市委託事業「生活圏域における認知症を支えるネットワークづくりモデル事業」の更なる進展を図る。
 - (A) 高齢徘徊者支援検討部会の開催
 - ①「支援の在り方検討」のため部会の開催（6回程度）
 - ②先進事例見学および関連講習会への参加（4回程度）
 - ③専門家を講師に「勉強会」の開催
 - (B) 認知症に関する講演会の開催（支援の輪を求めて・校区民対象）
 - ①認知症サポーター養成講座の開催（3中学の2年生対象も含む）
 - ②認知症支援者を養成のための講演会の開催
 - ③認知症の介護者から学ぶ「懇談会」の開催
 - (C) 認知症予防を目的とした教室の開催（中高年者対象）
 - ①習慣病予防教室の開催（根本校区多悠連と共催）
 - ②認知症予防のための実践教室の開催
 - (D) 事業費 多治見市委託事業（500,000円充当）
- (2) 根本交流センターふれあいフェスティバルでの「ねもと地域力」の役割強化
- (3) 地域力向上のための講演会・研修会等の開催（年2～3回）
会員の情報量向上と校区民を対象に講師を招くなどして講演会・実演会開催

3 新しい取り組み

- (1) 多治見市教育委員会との連携
- (2) 多治見保健センターとの連携
- (3) 包括支援センターとの連携

4 グループ活動の実施

(1) 防災グループ（スローガン；日本一防災意識の熱いまちづくり）

- ① 家具転倒防止セミナーの推進
- ② 広域避難所運営マニュアルの策定推進
- ③ 校区内ハザードマップの更新（水害、建物全壊率）
- ④ 煙感知器設置の推進
- ⑤ 防災の花「ど根性ひまわり7世」種の配布（防災意識高揚）
- ⑥ 地域防災訓練への参画

(2) 地域交流グループ

楽しみながら地域交流の場として、「おしゃべりクラブ」、「パソコン教室」、「ハッピー喫茶」、など下記の行事を開催します

	名称	内容	場所	開催日	時間
1	おしゃべりクラブ (写真技術)	写真	交流センター	毎月第3月曜	午後2時～
2	おしゃべりクラブ (家庭菜園)	家庭菜園	交流センター	毎月第3月曜	午後2時～
3	おしゃべりクラブ (健康食)	健康食	交流センター	毎月第2金曜	午前10時～
4	将棋の広場	子供は無料 (大人は、有料会員制)	交流センター	毎月第1・3土曜	午前9時～
5	ドンマイ北丘クラブ	ボウリング	パークレーンズ	毎月第2火曜	午前10時～
6	ハッピー喫茶	喫茶店	NSP中央集会所	毎月第1金曜	午後1時30分～
7	麻雀くらぶ北丘	麻雀	NSP中央集会所	毎月第2月曜	午後2時～
8	便利な機械の学習館	パソコン	NSP中央集会所	毎週水曜	午後1時30分～
9	夜のカラオケ	カラオケ	NSP中央集会所	毎月第4土曜	午後7時～
10	お散歩ちよいぼら	ウォーキング	フリー	自由	
11	野菜市場	100円販売	NSP中央公園	随時	午前9時～

(3) 高齢者・障がい者グループ

平成28年度と同様規模で部会を開催する。

(4) 子ども・子育てグループ

(根本小を中心とした活動の継続と協力者の確保)

- ① 根本小西門への新案山子の設置とロータリーの美観維持と工夫
- ② 根本小保護者会（P T A）への当グループ活動のアピールの実施
(一人でも協力者を増やし地域力の更なる向上を図る。)
- ③ 児童登下校時の交通安全見守り活動メンバーの増強。
- ④ ふれあいフェスティバルを年間活動の集大成の発表の場として盛り上げる。

(5) 防犯グループ

- ① 校区内通常パトロール（児童見守り、空き家監視、防犯灯、放置自転車）
- ② 青パトロール車による巡回活動（月5回）
- ③ 振り込め詐欺防止活動
- ④ 年末年始と夏期における街を明るくするキャンペーンの実施
(各家の門灯を点灯)
- ⑤ 多治見警察および多治見北部交番（根本駅前）との連絡協調活動
- ⑥ 外部防犯活動組織との意見交換会への出席

(6) 自然・生活環境グループ

- ① ホタルの乱舞する街を目指して
カワニナの養殖と放流・ホタル観賞会の開催。
地域団体や町内会への呼びかけをする。
- ② 大原川右岸のヒガンバナ育成事業（根本小5年児童との植栽実施）
- ③ 自然・環境、観察学習会等の開催
- ④ 多治見市風景づくり（補助事業）への取り組み